

報道関係各位



2026 年 10 月 5 日
日本臓器製薬株式会社

日本臓器製薬と TLC BioSciences 変形性膝関節症治療薬候補 TLC599 の日本における 独占的ライセンス契約を締結

日本臓器製薬株式会社（以下「日本臓器製薬」）と、台湾を拠点に脂質ナノ粒子（LNP）プラットフォームの開発を進め、臨床開発後期段階のパイプラインを有するバイオ医薬品企業 TLC BioSciences は本日、TLC BioSciences の子会社である Taiwan Liposome Company, Ltd.（以下「TLC 社」）と日本臓器製薬が、変形性膝関節症治療薬候補 TLC599 について、日本における開発および商業化に関する独占的ライセンス契約を締結したことを共同で発表いたしました。

本契約に基づき、日本臓器製薬は日本における TLC599 の独占的な開発および商業化の権利を取得します。本契約の経済条件については、両社間の秘密保持に関する取り決めに基づき、非開示とします。

TLC599 は、TLC 社の脂質技術「BioSeizer®」を用いたデキサメタゾンリン酸エステルナトリウムの徐放性注射剤です。関節内への投与後、有効成分を局所で長時間にわたり放出するよう設計されており、変形性膝関節症に対する新たな治療選択肢となることが期待されています。日本人の変形性膝関節症患者を対象とした第 2 相薬物動態試験では、最後の被験者の最終来院が完了しています。また、日本および米国で実施予定の第 3 相国際共同臨床試験に向けた準備を進めています。

変形性膝関節症は、加齢などに伴い膝関節の軟骨が変性し、痛みや運動機能の低下を生じる疾患です。高齢社会を迎えた日本において、変形性膝関節症は重要な健康課題の一つとなっています。国内の大規模住民コホート研究では、40 歳以上の女性の約 62%、男性の約 43%に X 線上的変形性膝関節症が認められたと報告されています。¹ 現在は、非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）による薬物療法やヒアルロン酸の関節内注射、手術など、症状や進行度に応じた治療が行われています。

日本臓器製薬は、長年にわたり整形外科および疼痛領域において、医薬品の開発、製造、販売を通じて、痛みの治療に貢献してきました。本契約を通じて TLC 社と日本臓器製薬は連携を深め、TLC599 の国内開発を進めることで、変形性膝関節症に悩む患者さんに、新たな治療選択肢を一日でも早く届けることを目指します。

1. Yoshimura N, et al. J Bone Miner Metab. 2009;27:620–628.

TLC 社 President George Yeh 氏 コメント：

「今回のパートナーシップは、TLC にとって事業上の重要なマイルストーンであり、当社独自の BioSeizer®プラットフォームが有する臨床面および商業面での可能性を裏付けるものです。日本臓器製薬は、日本の疼痛管理領域において充実した事業基盤と高い専門性を有しており、TLC599 をより多くの患者さんに届けるための最適なパートナーです。今後、日本臓器製薬と緊密に連携し、TLC599 の日本での開発を進め、この新たな治療選択肢を一日でも早く患者さんに届けられることを期待しています。」

日本臓器製薬代表取締役社長 小西崇文 コメント：

「変形性膝関節症は、痛みや運動機能の低下を通じて、患者さんの日常生活に大きな影響を及ぼす疾患です。多くの患者さんがこの疾患と向き合う中、TLC599 は新たな治療選択肢となる可能性を有していると考えております。当社はこれまで、整形外科領域および疼痛管理領域において長年にわたり実績を積み重ね、医療現場との信頼関係やネットワークを築いてまいりました。このたび TLC 社と協業し、TLC599 を日本の患者さんに届けるための取り組みに携われることを大変うれしく思います。今後、TLC 社と緊密に連携するとともに、当社がこれまで培ってきた経験や医療現場とのネットワークを活かし、TLC599 を一日でも早く日本の患者さんに届けられるよう、当社としての役割を着実に果たしてまいります。」

【TLC599 について】

TLC599 は、変形性関節症を対象として TLC 社が開発中の徐放性注射剤です。関節内投与後、有効成分を局所で持続的に放出するよう設計されています。

【TLC BioSciences について】

TLC BioSciences は、独自の脂質ベースのドラッグデリバリー技術を通じて、差別化された治療法の開発に取り組み、臨床開発段階のパイプラインを有するバイオ医薬品企業です。当社のプラットフォームは、有効成分の送達性および薬剤としての性能の向上を目的として設計されており、重要なアンメット・メディカル・ニーズへの対応と、患者さんの治療選択肢の拡充を目指しています。TLC BioSciences は、疼痛管理を含む複数の治療領域において開発候補品のパイプラインを推進しており、科学的知見と開発力を活用して、革新的なドラッグデリバリー技術を新たな医薬品へとつなげることに取り組んでいます。また、自社開発および戦略的パートナーシップを通じて、当社の技術および開発候補品のグローバルな展開と価値向上を目指しています。

【日本臓器製薬について】

1939 年の創業以来、医療従事者の期待と信頼に応えることを目指し、整形外科などの専門領域において、創薬研究から開発、製造、販売に至るまで、医薬品に関わる一貫した活動に取り組んできました。これまでに培ってきた知見と経験を基に、整形外科および疼痛、中枢神経系などの領域や、希少疾患の分野において、さまざまな先駆者と連携し、革新的な治療法の創出に取り組んでいます。さらに、革新的な治療法を患者さんへ適切に届けることで、医療へのさらなる貢献を目指しています。「次世代に続く医療ソリューションを創出し、世界の人々の健康に貢献する」というミッションのもと、サイエンスを基盤として、より良い医療と社会の実現に向けた新たな挑戦を続けています。

＜お問い合わせ先＞

日本臓器製薬株式会社 コーポレート・コミュニケーション担当

TEL : 06-6203-0441 (代表) E-mail : corp-branch@nippon-zoki.co.jp